

# 道徳科学習指導案

令和5年10月27日(金) 第5校時 6年〇組教室

## I 主題名

- 主題名 広く受け入れる心 (学指要領: 相互理解, 寛容)
- 人権教育 重要課題 (2) 子どもたち
- 資料名 「ブランコ乗りとピエロ」

## II 考察

### 1 価値観

人の考えや意見は多様であり、それが豊かな社会をつくる原動力にもなる。そのためには、多様さを相互に認め合い理解しながら高め合う関係を築くことが不可欠である。自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、自分とは異なる意見や立場も広い心で受け止めて相手への理解を深めることで、自らを高めていくことができる。

しかし、自分と違う考えや行動すべてに対して寛容でいることは難しい。また、生活の中で様々な他者と関わるうえで衝突もある。そのため、お互いのことを理解する、「相互理解」の姿勢が大切である。「理解」とは、人の気持ちや立場がよくわかることである。異なった意見や立場をもつ者同士が互いを尊重し、広がりや深まりのある人間関係を築くために、人の気持ちや立場を考慮する姿勢が重要となる。

そこで、授業を通して、異なる意見や相手の立場を考えることで、自他の違いに気づき、相手に対して寛容な心をもつことの大切さについて気付くようにしたい。

### 2 児童の実態 (削除)

### 3 教材観 教材名「ブランコ乗りとピエロ」(出典: 日本文教出版「小学道徳 生きる力 6」)

サーカス団のピエロは、スター気取りのブランコ乗りのサムに、いつも腹を立てていた。大王アレキス様の一時間のサーカス見物が行われる日、ピエロが大王の前で技を見せるはずが、サムが時間を守らなかったせいでできなかった。怒りと憎む気持ちをもったピエロだったが、演技を終えて疲れ果てたサムを見て憎む気持ちが消え、お互い分かり合えたというあらすじである。

本教材は、自分と考えが合わない他者を受け入れる心について多面的・多角的な視点から想像し、自分と異なる考えや意見を尊重する寛容さについて考えることができる教材である。

約束を守られなかったことで、悔しさや憎しみを抱いた主人公の変革について考えることを通して、自分とは考えが合わないことがあるときどうすべきか考え、実生活へ活かしていくことが期待できる。

## III 人権教育とのかかわり

高学年では、特定のグループでの仲を深めていく一方で、自分とは合わないと思った相手とはなかなか歩み寄ることが難しい。そのため、相手への思いやりや他者との違いを尊重する姿勢を育成する必要がある。

そこで、本時では、登場人物の心情を考えることを通して、自他の違いに気づき、相手の立場に立って自分と異なる考えを尊重しようとする実践意欲と態度を育てられるようにする。

### 【育てたい能力・態度】

- ・実践力: 登場人物の心情を考えることを通して、互いの良さや違いを認め、生活に活かそうとする。

## IV 本時の学習

- 1 ねらい 登場人物の心情を考えることを通して、自他の違いに気づき、相手の立場に立って自分と異なる考えを尊重しようとする実践意欲と態度を育てる。

### 2 人権教育の視点

- 実践力: 登場人物の心情を考えることを通して、互いの良さや違いを認め、生活の中の問題点に気づき、生活を向上させようとする。

主な学習活動 <b>主な発問 (◎中心発問 ◇補助発問)</b> 予想される児童(生徒)の反応〔S〕	○指導上の留意点
1 アンケートの結果を知り、本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつ。(5分) S：今日は、何について考えるのかな。 S：アンケートは、こんな結果だったんだな。 S：全員と仲良くなってるんだよ。  <b>&lt;めあて&gt;</b> 自分とは考えがちがうとき、どうするか考えよう。	○他者と考え方が違うことは誰しもあると共感しつつ、問題意識をもてるよう、事前アンケートの結果をモニターに提示し、友達との関係等について問いかける。【★提示】
2 教科書の教材文の範読を聞く。(4分)  3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。(11分)  <b>◇演技中、サムをみているピエロはどんな気持ちでしょうか。</b> S：自分の出番だったのに。悔しい。 S：自分勝手すぎる。 S：いつまで演技しているんだ。もうやめてほしい。  <b>◎ピエロは、演技が終わった後のサムに向かってどんなことを言ったと思いますか。</b> S：自分勝手だ。あれだけ言ったのに。 S：サムは確かに頑張ってくれていた。でも悪いところはあるんじゃないか。 S：いい演技だけど、自分勝手にはしないでほしい。 S：お疲れ様。頑張ってくれてありがとう。	○発問に合わせ場面ごとに区切りながら範読する。 ○様々な意見を出せるように、教科書は用いず、場面毎の挿絵をモニターに掲示しながら範読する。その際、だれが言った会話なのかが児童に分かりやすいように読み方の工夫をする。【★提示】 ○登場人物について整理し、出てきた人についてどう感じたか問いかける。 ○場面の変わり目ごとに、二人の関係を確認する。 ○演技中の考えや思いに着目できるよう、演技をやめようとしないうちにサムを見上げるピエロの気持ちについて問いかける。  ○ピエロの気持ちの変容を読み取りやすいよう、演技後のサムの様子について問いかける。 ○登場人物の心情を深く考えられるよう、その登場人物の言葉で書くよう指示する。 ○ワークシートに書くことが難しい児童には、自分だったらどんな言葉をかけてもらったらうれしいか問いかける。 ○自分の意見をしっかりともてるよう、書く時間を十分に確保する。 ○意見をもとに、相手を受け入れる姿勢について考えられるよう、最後の場面の挿絵を示し、どんな言葉だと良好な関係を築けるか問いかける。 ○登場人物の複雑なせりふが理解できるよう、教科書を見ながら範読を聞くよう指示する。

<p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについてもう一度考える。(20分)【★共有】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◇これから、ほかの人と意見が合わないとき、どうしていきたいですか。</p> </div> <p>S：自分の考えも伝えつつ、相手の意見も尊重する。  S：相手の立場に立って考え、認める。  S：相手が嫌な気持ちにならないように自分の考えを伝えるようにする。</p>	<p>○グループで、活発な話し合いがしやすいよう、自分の意見を付箋に書くよう指示する。  ○グループで話し合った結果をまとめられるよう、A3サイズの白紙を各グループに配布する。  ○グループの中での考えを全体に共有し、一度に比較・共有できるよう、グループでまとめた意見をオクリンクに送るよう指示する。【★提示】  ○事前のアンケート「友達と、考えが違うと思ったことがあるとき、どうしたか。」という質問の回答を提示し、普段の学校生活で実践できていることを紹介する。【★提示】</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>登場人物の心情を考えることを通して、互いの良さや違いを認め、生活に活かそうとする。  <p style="text-align: right;">【実践力】</p> </p></div>
<p>5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。(5分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;振り返り&gt;  S：今日、自分と相手と意見が違うときどうしていくか考えた。これからもっと相手のことを考えて、行動していきたいと思った。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◆評価の視点  ピエロの言葉を考えることから、「自他との違いについて、多面的・多角的に考えている」姿を見取る。  アンケートでの状況でどう行動するか考えることから、「他者との違いを受け入れ尊重する大切さについて、自分自身との関わりの中で考えている」姿を見取る。</p> </div>	<p>○本時の授業を振り返り、気付いたことをワークシートに書くよう指示する。</p>